学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
芸　術	音楽Ⅲ	2	3	音楽Ⅱの単位を修得した生徒のみ選択、音楽を愛し興味関心がある者

使用教科書	副読本等
Joy of Music	New Music Note

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
ウクレレ、等の費用として4000円				○			○	

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」に「音楽をつくること」を加えた4つの分野を学習します。世界の民族音楽、ハワイの伝統音楽、ウクレレの音楽を鑑賞し、体験します。西洋音楽史にそった主要作曲家について年代順に学び、その主要作品を鑑賞、研究します。音楽が生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力になることを願っています。

2．学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察、授業ノート	観察、授業ノート	演奏の聴取	観察、ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	歌による表現力を身に付けよう～歌曲の世界	ロマンチストの豚	○	○	○		a.「ロマンチストの豚」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.「ロマンチストの豚」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせてイメージを持って音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、毒婦などの技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	器楽による表現力を身に付けよう～アンサンブル（キーボード）	ピンク・パンサーのテーマ	○		○		ａ．各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて演奏の学習に主体的に取り組もうとしている。 c.各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに全体の調和を意識しながら表現するために必要な技能を身に付け、創造的に表現している。	
5月 下旬 ～ 7月	鑑賞力を伸ばそう～外国の様々な音楽（ルネサンス、バロック音楽）	デンマーク王のガリヤード、オラトリオ〈メサイヤ〉から〈ハレルヤ〉	○			○	a.楽曲の文化的、歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d.楽器の音色や表現効果の特徴を聴き取り、感じ取ったことについて話し合ったり発表したりしている。	観察 ワークシート 授業ノート
	器楽による表現力を身に付けよう～ウクレレ	教本 イアイリノオエ	○		○		a.ウクレレの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c.弾き語りをするために必要なウクレレの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 授業ノート 演奏の聴取
8月 下旬 ～ 10月 上旬	歌による表現力を身につけよう～アンサンブル	春よ、こい	○	○	○		a.曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	オペラ、オペレッタ、ミュージカルに親しもうう	オペラ「トゥーランドット」	○			○	a.総合芸術オペラの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d.声の音色と表現上の効果との関わりに知覚、感受し、オペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
10月 中旬 ～ 12月	表現意図をもって音楽を作ろう	創作		○			b.リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら表現したい音楽をイメージしてどのような音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	授業ノート
	鑑賞力を伸ばそう～外国の様々な音楽（ロマン派、現代の音楽）	ショパンの生涯と作品	○			○	a.楽曲の文化的、歴史的背景に関心を持ち、意欲的鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d.楽器の音色や表現効果の特徴を聴き取り、感じたことについて話し合ったり発表したりしている。	観察 授業ノート

1月 ～ 2月	コーラスアンサンブルを通して歌唱力を高めよう	Land of Hope and Glory（希望と栄光の国）	○	○	○		a．各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、イメージを持って合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	器楽による表現力を身に付けよう ～ギター	３つのジムノペティ 第１番	○	○	○		a.ギターの音色や奏法の特徴に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b.旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c.アンサンブルするために必要なギターの奏法、演奏技能を身に付け、創造的に表している。	